

COMP COMICS

翡翠峡奇譚 2



広江礼威

CC-21-2
角川書店
Ⓟ

ISBN4-04-713062-1
C0379 P600E
9784047130623
1910379006000
定価600円(本体583円)

COMP COMICS



翡翠峡奇譚



広江礼威

二巻ッス。
オチが
つかなかったのが
残念ス。
根性ねえなコンプ！



翡翠峡奇譚（ひすいきょうきたん）

広江礼威（ひろえれい）

2

COMP COMICS

COMP COMICS

翡翠峡奇譚

2



広江礼威

CC-21-2
角川書店
Ⓟ

翡翠峡奇譚（ひすいきょうきたん）


ひ すい きょう き たん
翡翠峡奇譚
広江礼威

翡翠峡奇譚

目 CONTENTS 次

2



解りましたよ!!
例の祭器の場所が!
ピッ
どこだと思います？
…日本か!
そう!!
帝室博物展に登録されていますよ「トラカフィパンの剣」が!!


巻之九
親父さん
今まで色々とありがとう
久しぶりに運動させて貰っただけでさあ
それより息子の事…
息子の事くれぐれもよろしくたのみます
出来は悪いがもうこいつも「世界」を見ておく必要がある
旦那達には迷惑を掛けるかも知れねえがそんな時でも見捨てねえでやって下さい


オオオオオオ
でもオッさん大丈夫なのかい？えらく金もかかっただろう
おおい
脇坂君!!時間時間!!
オオ
何
息子の為だよ
脇坂君!!タラップが上がるぞ!!
早くしろ!


じゃあ
——元気で
Buen Viaje!!
旦那ァ! 早く早く!!
ゴッ


旦那遅いよお
とっとっ…すまねえ
ちょっと話込んでたんだ悪い悪い！
困るなあ…ヒヤヒヤしましたよ全く
ここが皆さんの部屋です…三名一緒に取っておきました
へーすごーーい！
三名？
カーッ
ドキドキドキドキ
…ててて事はまままさかこの娘も一緒って事？マジ？
いけませんでしたか？
おめーーなーーー!!


ピキッ
あッ
あの
私は全然
気にしない
ですが
じゃ私は
そういう事で
どうも色々と
すみません
おっとそうだ
お食事の方は
もう用意
出来てますよ
ホント？
嬉しいなっ!!
ねね
ダンナっ!!
ゴハン！
食べに行こーよ
早く早く!!
わくわく
……
どしたの？
さあ？


旦那 何で怒ってんの？ ねー
何でもねえよ もう 気にすんなよ
あー 旦那ァ
さっきの ククルカンさんの 話かな
ぴくっ
ちちち 違うよ バカ!!
……
わあー 許して——


あの…
ぴく
あの…
先程の事でしたら ホント 気になさらずに…
何か ご都合の悪い 事でも？
い…いや だからさ
やはり結婚前の 健全なる男女が おなじ一つ屋根の下と ゆうのは…ちょっと
ぴく ぴく
あら まあ
そんな事 だったんですか
私 脇坂さんの事 信じて ますもの
きっぱり


ねね そういや前から一度は聞こうと思ってたんだけど
そのテスカなんとかって奴さあ そんなに恐い相手なの?
恐いーというのは違います
私と彼とは世界を為す表と裏…互いを滅し合う事が運命…
そういや テスカトリポカの話は聞かせて貰った事がなかったな 一体どんな奴なんだ?
それを話すにはまず私達の世界の事を話さなければなりません
そう…あれははるかな遠い昔の話…


最初に我等が主神が
「世界」をお造りになられた時
主神は一つの法則を定められました
「陰」と「陽」――
この二つが互いに作用しこの世界を
紡いでゆく為の力となるのです
主神はその力を
二つの神に具現化させました
「陽」の力は
文化と大気を司る神
それが私です
そして「陰」の力
戦争と夜の邪気を司る神
テスカトリポカです


私が…つまりククルカンがこの体を受け継ぐ前からその法に従いあらゆる時代が形造られ消えてゆきました
この体がククルカンとなってから奴と初めて接触したのは「セ・ショチトリ」の年――西暦にして九五〇年頃の事です
ちょ…ちょっと待ってくれよ
「この体」ってコトは君は元々人間なんだな？
――もともと私はオルメカの一等神官の娘でした
カルメカックで一番の適性を認められた為にこの体にククルカンの力を宿す事になったのです
「ククルカン」とは精神体の名ではありません精神に多少の影響はあるものの私個人の心はそのままです


——ふうん
その頃は何て名前だったの？
親から授かった名はマトラル・ショチトル——でも
私は後に名前を変える事に——その名は聞き覚えがあるでしょう
ドーニャ マリンチェ
ドーニャ…マリン…え？
まさか——
まさか あの…
一五二一年アステカ滅亡の時にスペイン軍を陰から支えスペイン軍指揮官エルナン・コルテスと行動を共にしていたあのマリンチェ？
Tenochtitlan.
君が？何故同胞を…？


これからする話は
その事にも…
そしてテスカトリポカにも
関係してくる話です
私が何故奴から
忌み嫌われているのか
そして何故――
私が
主を持たない神に
なってしまったのか
……
まちがえた、ごめん気にすんな
私達の戦いは
戦いといっても
いわばゲームの様な
ものだったのです
主なる太陽の審判の元
全ての力をもって
世界を奪い合う…
野蛮だとお思いでしょうが
それは私達に与えられた
仕事だったのですから
あれは
四番目の世界の崩壊
「四の水の日」の
出来事でした
ドドド
ケツアル
コアトル…
私の負けね


これからは あなたの時代よ… 好きにするがいいわ
でも一つだけ 聞かせて
何？
あなた この世界でも 人間を育てていくつもり？
ええ…彼等は 何よりも勤勉だし 私達を崇めてくれるわ
あなたが この世界を続けるつもりなら 考えた方がいい
自らを 滅してでも 育てる価値が あるのかどうかをね


彼等はいつか私達を――
――神を殺すわ
解るでしょう……あなたが……私達の存続を……
ボロ
握って…い…る…事…
ピシ
ボロ
を…

巻之拾




さていよいよ
皆様お待ちかねの
ジャズの登場です!!
曲は「ハンカドゥーラ」
どうぞ盛大な
拍手を!
パチ
ワッ
パチ
パチ
パチ
――そして
彼女は
戻って来た――


冥界の魔術師トラカフィパンとウィツィチロポチトリを引きつれて
彼女等はまたたく間にかの地を混乱に導いたのでした
私はと言えば愚かにも彼女の謀略に引っかかり…その
呪薬によって抜け殻の様になっていたんです


そして彼女は
私に――
ふふ…
いい恰好よ
ククルカン
御免なさいね
やはり人は
生かすべきでは無いのよ
まだ分からない事も
多いけれど…
星がそれを
現し始めているわ
だから私は
人が私達を
滅ぼす前に
私が人を
滅ぼしてやるのよ


そして私は追放され テスカトリポカは 彼女の宗教儀式に 基づいた世界を 創ったのです
それがあの アステカ帝国です
彼女は自然なやり方で 主たる太陽を守り 人を滅す方法を 考えました
——それが アステカの人身犠牲です
特に一年に一回 〝オシュカトル〟と呼ばれる 血の祭日の時は
四日間で 二万人もの人が 殺されました
二万人も？
——それから私は マヤ部族の神殿に逃れ 来たるべき次の運命 「一の葦」の日を 待ち続けたのです
でも私は… まだテスカトリポカの 言った事が理解 出来ないでいたんです


何故彼女が狂行に走ったのか…
一五二一年
コルテス上陸の年か
その答えは一五二一年に有りました
初めて見る白い人々に危惧の念を感じながらも
テスカトリポカと戦うには彼等の力が必要と思いました
今にして思えばその時すでに私は太陽の声が聞えなかったのでしょう
あの…
燃える我が太陽の都を目の前にした時…
ドド
ドド


私は
テスカトリポカを
倒す事にのみ
血道を上げ
最も
大切な事を
忘れていたのに
気付きました
独立した紀律の中で
調和を取って来た
我々の世界に
私は
異なる世界を
呼び入れて
しまったのです


ガシャ.
マリンチエ殿!! 隊長がお呼びです
何でも引き会わせたい者がいると申されまして
さ こちらへ…
おお 来たな
マリンチェは こちらへ


こやつが何としてもお前と話をしたいと言うて聞かぬのだ
どうだ？一つ口を聞いてくれぬか
王めお前と話さん限り口を聞かぬつもりらしい
何としてでも
こやつらの財宝を…黄金を手に入れねばな！
全く強情な奴よ!!
ぞく…
王よ偉大なるモクテスマよ
私めに何の御用がお有りなのですか


マリンチェよ
用があるのは余では無い
こちらにおわす我等が主神だ
久しぶりね
ククルカン
ええ
永い間だつたわ
私は
最も大事な事を見落していたわ
神を滅したのはこの世界の人間では無かつた
あなたの連れて来た別の世界の人間達だつたのね


私は今の世界が滅びる事を望んでいた
そして貴女はそれを実現させたわ
でもそしてこの私もそこで大きな過ちを犯してしまったのよ
私には判らない
何故なの？
これは私の望む結末では無いわ!!
貴女は私達の母が創ったこの世界の壁までもそれと知らずに壊してしまった
知らなくても良かった筈の異なる世界をこの地に呼んでしまった
私達の母は…


太陽は
…もう枯れてしまった
ザ
ドッ
!
…だが見ていろ



奴等の神も又
奴等自身の手で
葬り去られるだろう!!
ガッ
そして
全ての軀が
混沌の中に
押し流される時
——私は又
ここに再び
帰って来よう!
あの女を
捕えろ!


愚かな！我が聖なる名を忘れたか!!
我こそは煙る鏡!!そして闇!!死を司る夜空の神!!
ゴッ
テスカトリポカなるぞ!!


流れた酒は二度と元の器には戻れない…
でも…せめてこの私だけでも
待って!
この世界への
弔い合戦をしてやるわ


オーン
消えた…
マリンチェよ…
我等の神は死んでしまった… 我々は何処へ行けばいいのだ?
我等の行きつく先はスペイン人の言う天国なのか?


もし
そうであるなら
余は───…
進んで
地獄に
落ちようぞ…
演奏は
本船の特別ゲスト
ベニー・グッドマン
楽団でした
皆様
今一度盛大な
拍手を!!


…その後の歴史は
あなたも
ご存じでしょう
私はもはや
新世界に必要無い
者となっていました
そして放浪の末
密林の中で暮す
最後の教徒達に守られ
そこで自らの行動を
封じたのです
―これが
私と彼女との
間にあった
全てです
おい
ボーイさん!!


何か御用ですかお客様
ジンだよ ジン!!
トン
トン
キツい奴なストレートで!!
パサッ
——ふん
世界中が追いかけ廻してるってーから どんな娘なのかと思ったら…
泣かせる話じゃねえか ——面白そうだ


大佐
出撃準備が
完了致しました
結局六班は
撃退されたか…
重機まで持ち出して
なんたるざまだ
邪晶眼は？
は
こちらに
金の台座に
世界唯一のサファイアの
虎目石を使いルーンが
彫り込んであります
御命令の通り
作らせました
ふッ!!
ははは


この役立たずの眼球ともおさらばだ!
さてと…
行くぞ
船長!
ン ああ 例の黒服か
ハインツ お前ちょっと迎えに行ってやってくれ


ほお
黒服が来るってんで
一体どんな奴が来るのか
心配してたんだがねえ
フタをあければ
まさかこんな
お嬢ちゃんだったとは！
ジーク・ハイル！
話はもう聞いてるだろう
親衛隊大佐グルマルキンだ
俺は本艦の艦長
ヴィッケ・ニヒトレーゼン
——少佐だ
ところで
依頼書はどうしたんだ？
どっかへ落としちまったのかい
お嬢ちゃん？
依頼書など
存在しない
今から口頭で
作戦内容を
説明するぞ
——いいか
現在パナマを航行中の
日本客船〝平洋丸〟を
捕捉次第停船させ
乗客の重要人物を
強制連行するのだ
！


外洋客船だと？ おい
冗談じゃないぞ！
戦時でも無い時に
そんな事が出来るか！
しかも相手は
日本の会社が所有する
船だ！
一体どういう――
ガッ
…いっ！
…これはアーネンエルベの
名の元に行なわれる
極秘作戦だ
素直に言う事を聞け
ヴィッケ艦長
それとな
私はお前の
何百倍も歳上だ小僧
私の事をお嬢ちゃんと呼ぶな
判ったか
はっ…ハハハイ
ハイ！ ハイ！
わかり…ました
大佐殿！


ゴッ
ゴーン
ゴゴーン
〝海の狼〟全乗員に告ぐ
本艦はこれより
総統命令において
極秘作戦を遂行する
ドド
ドド
目標!!
日本船籍外洋客船
〝平洋丸〟!!



巻之拾壱


我々は何処に
行けば良い
――余はあえて
地獄に落ちようぞ…
過ちを…
あなたは
犯したのよ…
もうすぐ
大熊座が並ぶ
私の星が
でもすぐ…
もうすぐよ
その時こそ


お前の最期だ
ククルカン!
いやあああ!!
ガバッ


はっ
はっ
夢……
な…
はー
はー
こわいよ
こわいよ
何だ何だ一体!!
ギシッ
——ごめんなさい…
ちょっと気分が悪いんです
少し外の空気を吸って来ます
バタン
…………



心配になってついて来たのはイイが…
こっから先どーするんだ一体やはり俺が力になって…
ドキドキドキ
──いやいやもしかしたら一人になりたかったのかも？
だったら俺が今言ったら余計なお世話だし…けっこうドロ沼!?
こそっ
脇坂さん
ハイッ


少し
お話が…
すまなかった
悪いとは
思ってたんだが…
——昨日の
話の
続きです
え
話そうか
どうか…
ずっと迷って
いたのですが
〃煙る鏡〃が
いかにして
世界を滅ぼす力を
持ち得るかを!!


そうだ——
自らの世界が崩壊したのに この世界を混乱に 陥れるだけの力を 何処から手に入れるん だろうって思ってたんだ
生贄です
力って何だよ すげえ爆弾みたいな もんか？
宇宙というものには 一律した機構を持った "黄金律"が 存在しています
奴は生贄の数に比例して 自らの力を 強大にしていくのです
今迄は私達の世界が 奴が無制限に 力を使う事を 禁じていました
でも これからは違う
私がその世界を 滅ぼしてしまったの ですから…
——それが 黄金律と 何の関係が？


奴の本領はその黄金律――特に戦いの――調律を乱す事にあります
つまり彼女自身が直に手を下す事無く自然な形で好きな場所に好きな時間争いを起こす事が出来るのです!!
――そして
力が強くなればなるほど………戦乱の渦は拡がっていく――か…
大戦争を引き起す事が出来るのですから
大戦争――か
ついこの間戦争があったばっかだってのに
大して生贄を費さずとも…わずかなきっかけだけで
復讐を計る奴にとってこの世界は絶好の条件がそろっています



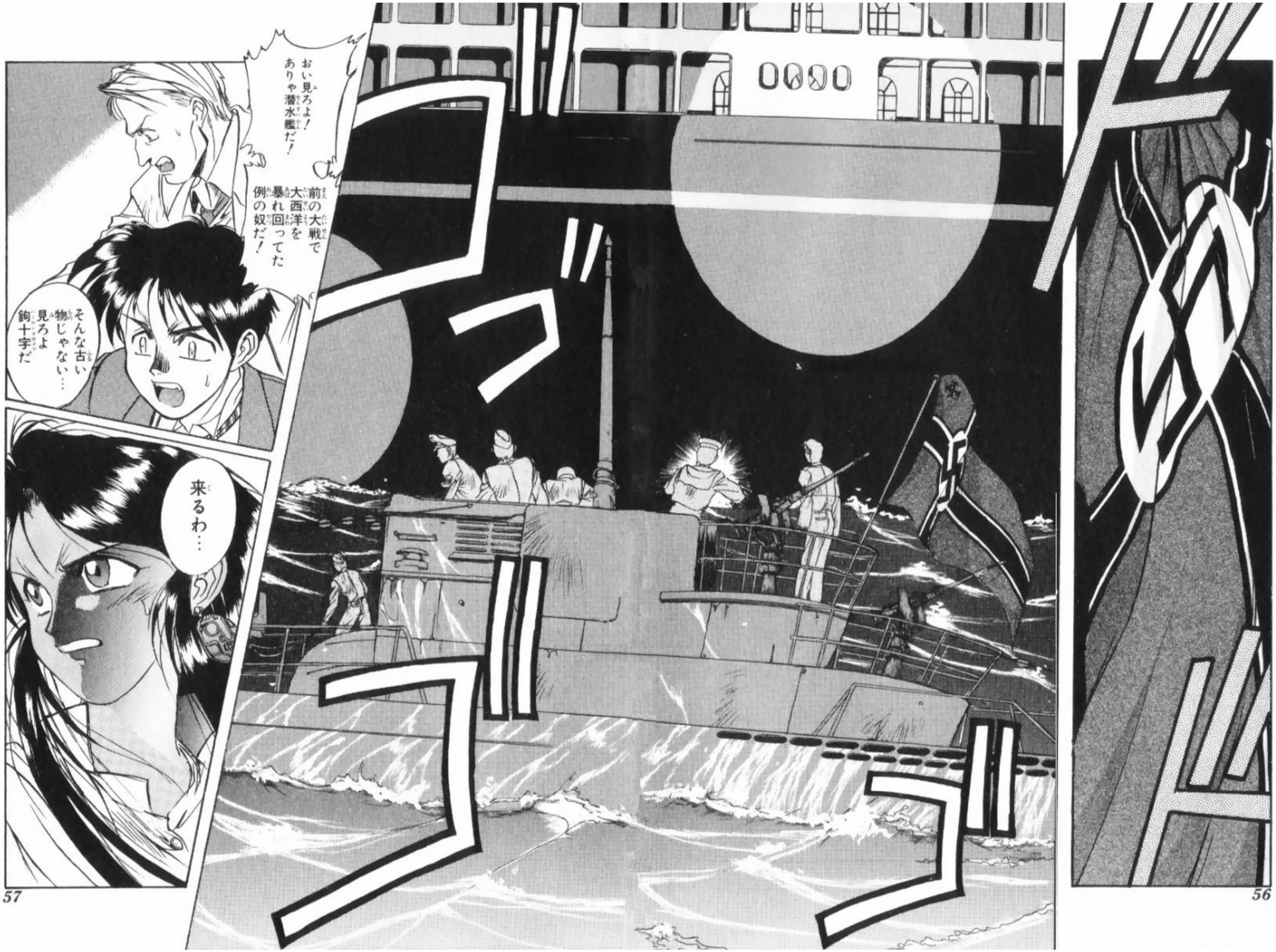
それと重大な事がもう一つ…
はい？
私が土地から受けていた精霊達の力はここではもう
——存在しません
次に金星の力が強くなるまで——新月の時までは私の持つ最低限の力しかだせないでしょう
その為に
これを貴方に持っていて欲しいのです
刀…!!


この刀はメシコオアトルという神刀です
貴方の心の強さに応じてこの剣もその力を変えて行きます
もし必要とあらば私の様な力を使う事も
で…でも
俺が持ってるより君が持ってた方が
いいのよ
私にもしもの事があった時には…
約束して下さったでしょ？
ね？


………
ま
そういう事なら
預かっとくか
カチャ
ええ
お願い
!!
バ
誰だッ!!
ッ
おっと
脅かしちまったかな?
ジャ


ナチスか？
――――
安心しな
そんな物騒な
モンじゃねェ
俺の名は
ギュンター
ギュンター
ウェブスターだ
今はもっぱら
H・トリビューン紙に
出入りしてる
フリーのブン屋さ
失礼な
野郎だな…
夜中にヒトを
つけ回すのが
アンタの性分か
こっちも仕事でね…
例の発掘隊全滅の
生き証人が
この船に乗ってると
なりゃア
つけ回すのも
仕方ねェさ


ま 俺としちゃ この娘の方も 結構興味あって ねェ!!
何だ混血か? 可愛い顔 しちゃってまあ たまらんなあ
お嬢さん 明日の朝食 一緒にどうだい?
え
あの
てめえ その汚ねえ 手を離せ このアメ公!!
いーじゃねェか 別に!!
それとも何か てめーの女か!?
んな事ァ どーでもい…
!


ドドド
ゴゴゴゴ
おい見ろよ！ありゃ潜水艦だ！
前の大戦で大西洋を暴れ回ってた例の奴だ！
そんな古い物じゃない…見ろよ鉤十字だ
来るわ…


こちら第三帝国海軍所属
〃海の狼〃!!
平洋丸応答せよ
何事です?
ガチャ
本艦は特殊任務につき貴船に協力を要請する――
停船を要求する
何だこりゃあ?
――成程…
ベラクルスの追撃が手ぬるかったのはこいつのせいか…
繰り返す
停船を要求する
ちょっと打電機を借りるよ
ガタ
あっ何を?
君!!
部外者は立入禁止だ
早く…
失礼!!
僕は特務でこの船に乗っている梅町という者だ



何なら青山の陸軍省に問い合わせてくれてもいい
これは本郷機関の正式な要請だ
ガヤ
ガヤ
逃げろギュンター!
どうして
来るんだよ奴等が…
!
——その通りだ


カッ
やああ
久しぶりだなあ
カッ
ククルカン
約束通りお前を連れに来た
おい何だ何者だこいつら!!
あんたの一番知りたがってた連中だよ
——て言うとあの調査隊の？


…ふん
日本人も一緒か
——これは都合がいい
わざわざ殺す為に
捜すのでは
手間がかかり過ぎる
しかし
今はお前の方が
先だな
ククルカン
さあ
御自慢の力を
使って見せろ
どうした？
構わんぞ
早く
見せてくれ
ス


きゃっっ
ククルカン!!
ダッ
グリィ
クックックッ——どうだ動けまい
動くな!!
教えてやろう…——これはな
お前の星の力を封じる為に作らせたルーン魔術の結晶〝邪晶眼〟だ


来い！
いい子だ
ドッ


ガチャ
おい!!
日本人!!
俺がストロボをたいて目潰しをしてやるから…
それを合図に女を助け出せ!!
あんたは?
俺は男の方をやる!!
用意はいいか?
おい!!
!
Go! NOW!


ガッ
――小癪な!!


親衛隊大佐
グルマルキン
確かに
ククルカンは
頂いたぞ!!


巻之拾弐


カチャッ
収容完了！
…よし シュノルヒェル 降ろせ！
このいまいましい場所から
さっさと引き揚げるんだ！
ドド


おい！
う…
しっかりしろ日本人！生きてるか？
…ククルカン…
やめろ喋べるなよ！
ククル…カン……は……
駄目だ！連中に連れてかれちまった
何だとォ
助けに…行……く…
ギュンター…俺を…起こせ！
がはっっ
おい落ち着け！
情けねえ…


旦那!
見てたんならなんで助けてくれなかったんだよォ
バカア!
失礼!
ちょっと失礼
動けますか
…………
目の前だ…
目の前でさらわれたってのに
——俺は
何も…出来なかった…
…また……
個人と国家だ
負ける事だってたまにはある…元気出せ!


脇坂君
もし本気でククル・カンを取り戻すおつもりなら――
僕が力を――
貸しましょう！
おおいメガネ！そいつあ無理ってモンだぜ！
ME――N
ME――N
だいたいUボートの行先だって判らないってのに…
世界大戦の頃独逸は通商破壊の為に太平洋にも――
Uボートの基地を持っていました
独逸の持つ旧統治領の島の中でUボート収容能力のある島はただ一つ！


ライン群島の一つ――
旧ノルトハウゼン――
現在のスカラマンガ島です
でも
場所が判ってても乗り物が…
ありますよ
ほら
聞こえませんか
オン


舞台はととのいました
後は君次第です
脇坂君!!
艦長!機影が!!
行こうぜ
それが答えさ


ゴ
オ
オ
決まりですね
こちら第八〇一——海軍航空隊だ！機関の要請通り”注文の品”を持って来た
ゴオォオオオ…
凄え！
日本海軍の試作水艇か！
行こうよ
旦那！



…おう!
速力8ノットに変更!
深度28より32に降下
ご苦労様ですな艦長
ああこんな事はもうご免だお前はどう思うミュラー大尉?
深度計に注意
さあ…もちろん好きじゃ無いですよこれじゃまるで海賊だ
それに一番気に入らねえのはあの黒服の女だ…ナチスに入ってる奴あみんなああなんですかかね?


そういや…
黒服共の姿が見えねえが連中どこに行った？
男の方は医務室でおねんねしてます
女の方は――
娘と一緒に部屋に籠りっきりですよ
一体何してやがるんだか
カッ
カッ
カッ


カッ
カッ
あ
ん……
カッ
カッ
う…
お目覚めか
どうした？
恐いのか
そう
恐がるな
私は貴公を友人だと思っているのだよ？


お前の事は
文献で調べた
——可哀そうな
身の上じゃないか？
ん？
あれを読んだら
片目の恨みなど
忘れさせられて
しまったよ
まあ…
慌てる事はない
…ゆっくりと…
…ゆっくりと仲良く
なれば良い事だ
我々の
仲間になれ
我々ナチスは
貴公を歓迎する
左様なおいたは
いけませんな


まあいいさ
貴様にその気が無くとも
いずれお前は…
進んで私に仕えに来るだろうよ
その美しい顔を私の前に下げてねぇ


伊織さん
ぺろん
助けて！
なあ俺も連れてってくれよ
こう見えても軍隊に居た事だってあるんだぜ！
なあ おい！
君には関わりのない事です！
それに危険だ！
戻りたまえ！


とにかく…？
待ちなよ梅町
スクープ取りたいンだろ？来なよ
話が分かる野郎だ
サスガ俺の見込んだ男！
その代り
あんたの命と引き替えになるかも知れねーぞ
それでも良けりゃ
銃を取りな!!
後悔しますよ
来たいっつってんだ
構わねーよ
こっちも人手が欲しいだろ？
もう
発車の時間だ
早くしろ！


?
おう
お前か！
ドイツの連中に
ケンカ吹っかけに
行くってェ
粋な野郎は？
徳田一飛曹
おメェ等の運ちゃんだ
よろしく頼むわ
シケた服
着やがって
カフェに行くんじゃ
ねェんだぞ
ホレ
これ着ろ！
俺も前の大戦で
ドイツ野郎と戦ってな
青島の時にゃ
腹に三発食らっちまった
そいつぁな
俺が青島攻略の時
アメ公に
取っ替えてもらった奴だ
ポン刀と引き替えにな
おいおい
い──のかよオッさん
んな大事なモンをよ
こんな小便臭え
小僧っ子なんかに
やっちまっちゃあ…
！


泣いちまうぜ
その服がよお
そう思わねェか
なあ小僧？


おい 今誰の事 小僧つったよ？
俺の目の前に 立ってる小僧以外に ドコにいんだよ 小僧が？ あ？
図体でけェからって あんましナメんなよ ブッ倒すぞ
ブッ倒す？ お前がか 寝言は寝てから 言えよ小僧
やめたまえ！
君等が 闘うべき相手は 他にもいるだろう
何でェ虎！ さっそく新入生に からんでやがンのか？


「虎」？
助っ人ですよ
ドドド
本業はジョンブル相手の山賊だ「谷豊」って名前は郷里のマレーじゃおたずね者——
仲間はみんなこのキズのおかげで「虎」って呼んでるがな
しっかり金玉押えてろよ！
飛ばすぜ!!
名前なんて知りたくもねえ着がえるぜ
母ちゃんはいねーんだぜ？後前に着るなよ


ふン
ぴくっ
おいそこの子供！
おいら？
あいつの事だ聞きてえ事がある
俺あ梅の奴から「日本軍の関与する重要作戦」としか聞いちゃいねェ
それでフタを開ければ援軍ナシのドシロウトだらけだ
お前等が例の事件に関係してる事ァ判ってる——
でもよただの関係者ならわざわざ頑張る必要もねえだろう…なンであいつは軍にまかせないンだよ？
ん——……
よくは分かんないけど…
あの人…ずっと気にしてるんだよ
発掘隊のみんなが殺されちゃった事を
別に——
あの人のせいで死んだ訳じゃ無いのに


だから…
カチャ
助けられなかった
みんなの代わりに
あの人を
守ろうと
してるんだ
——それが
自分の
罪滅しだと
思ってる
みたいだよ
…でも
俺ら
だから旦那が
好きなんだ
自分の力以上の
事をやろうとして
戦ってるから


そうか…
幸せだな あいつは…
梅さんよ 東京から 電文だ
派手な 宴会に なりそうだぜ
——鉤十字騎士団に SS長官の到来か
確かに 派手な事に なりそうですね
おう
ガチャ
いいカッコに なったじゃ ねえか


七五三のお祝いだ
飲みやがれ!!
EARLY TIMES
うるせえ「七五三」は余計だバカ
しばらくすりゃ地獄の一丁目だ
暴れようぜ!


着陸体勢に入ります
衝撃にお気を付け下さい閣下
ガ
ガ
実に感激だよ あのククルカンをとうとう我々の手に収める事が出来たのだからね
君はどう思うハイドリヒ君?
……確かに
アーネンエルベもよくやったという所ですかね ――まあ僕はククルカンなど信じてはおりませんが
ガ
ガ
おっと これは失言を
クス。
ゴオ
オ
オオ


着陸！
ガッ
ゴォオオオオォオオォオォ
巻之拾参
タラップ出せ！
鼓笛隊前へ！
バババッ
バッバババッ
気を付け！
親衛隊最高司令官ハインリヒ・ヒムラー閣下 並びに
ゲシュタポ長官ラインハルト・ハイドリヒ閣下に対し
敬礼！


キュッ
閣下がお着きになられた
これで お前のあてにしている下らん連中もここには来れまい…間もなくこの島は要塞と化すだろう
お前の選択すべき道はただ一つだけだ
ガチャ
また可愛がってやるよ
バターン。


ヒムラー長官はすぐこちらに向かうとの事ですが
カッ
カッ
大佐!
!
カッ
久しぶりだねえグルマルキンくん
獅子奮迅の活躍じゃないか
これはこれは
ハイドリヒ閣下
それに——


まさか鉤十字騎士団のお二方までやって来るとはな
役不足だと思っていたが…貴殿にしてはよくやった方だ
ランドルフが居ないと何も出来ない訳じゃなさそうね？


…ランドルフ閣下は御健勝で？
そうですか…結構です閣下では失礼
カッ
カッ
ああ
彼は今〝ロンギヌスの槍〟奪取に手を焼いていてねこちらには来んらしい
……
――ふんガラクタ共が大層な口を聞く様になったものだ
カッ
コッ
カッ
――化物が！


島中央にある
岩山の地下20Mを
丸ごとくり抜き——
重爆の攻撃
艦砲射撃にも
耐えられる様
設計された
正に要塞島
守りの任に就くは
SS-VT精鋭
一三〇〇人!!
ドイツ軍の誇る
太平洋最大の
秘密要塞
そして
その名が——
ノルトハウゼン
——か


じゃあ作戦の説明を…
こちらに有利な点は敵は要塞の防衛能力を過信している点です
つまり「どんな大部隊でも陥すのは困難」「だから我々ごとき少人数がやって来る訳がない」
その死角をついて——一気に救出する電撃作戦です
待てよ
お前に聞きたい事がある
…何をですか？
俺の知らない一部始終だ


お前が何者かって事をさ
今さら南米公発の社員ですなんて言わねぇよな? いくら南公調査部にしても手回しが良すぎるぜ
なんだ梅町まだ教えてなかったンかよ?
こいつぁな
もちろん只の会社員じゃあねえ陸軍中野学校出のれっきとした士官様だ
なあ? 本郷機関特務中尉梅町省三さんよ


――敵か味方か…
まずそれをハッキリさせねえ事にゃ動けねえ
…敵ならどうするおつもりで？
もちろん味方ですよ
今の所は……ね
分らねえか？
ヘッ


馬鹿かてめえは
梅のお陰で手前がここまで来れたって事忘れんなよ
梅が敵ってんなら梅に雇われてる以上俺っちも敵に回るぜ
いい加減にしなよ！
今そんな事言ってる場合じゃないだろ!?
その通りだ日本人
とにかくあの娘を助ける事が先決だぜ
決まりだぜよ


さァ!
楽しもうぜ!
パーン!
しょうがねえな
行くか!


ギュンター達はうまく入れたかな?
俺としちゃ下手に入ってくれる方がいい
そうすりゃ本陣は俺達から目をそらす
ざ


大当たりだ
覚悟は？
上出来だ
出来てるさ
ちゃ。


陸軍省内務課第八班…
「竜一号作戦は目下順調に進行中なり
継続し二三〇一時にも再度通信送る」
——と
こう暑くっちゃ…どうにもかなわねェ！
連中も大変だ


虹蓮(こうれん)！
君(きみ)の出番(でばん)だ
手加減(てかげん)無用(むよう)だ…嬉(うれ)しいだろう？
殺(ころ)して
殺(ころ)して
殺(ころ)しまくれ！


行け
せ……
まいッ
早く
行けったら！
全く
体でかいんだから
僕が迷惑だよ全く
うるせえ
ゴチャゴチャ
ぬかすな
あ――
暗い暗い暗い
ねえまだ
出ないのここ？
ねえねえねえ
ああもう
うるせえな
このガキャ！
ちっとは
静かに出来ねえのか
見つかるだろがよ
ガシャ
ガシャ
ガミーャ


むぎっ
あァに
すんだよォ
シーーー!
何だか
格納庫みてえな
場所に出たぜ
ゴォン
ゴォン
ーあの時の
Uボート!
ねえ
これから
どーすんの?
ーそうだな…


――と
こーいうのは
どうだ？
まあな
ズルズルズル
――ねえ
俺らの分は？
後は部屋捜しするだけでOKだろ？
！
おい
そんなトコで何してるんだ？
ひょこ
えっ？
いやあ軍事郵便が届いたもんでね
その作業を…
どこ持ってきゃいいんスかね？


郵便課なら3Fだ! 何だ貴様補充兵か?
ええまあ… すんませんね どーも
うううううホントに大丈夫なのかな~~~~ 偉い事になりませんように…
前から来る奴は生かしといて お姫様の居場所を喋らせる
後ろっから来る奴ァ迷わず撃て
何だそりゃ おまえのポリシーかハリマオ?
ふりむいて「手を上げろ」つうのが面倒臭いだけだ
行くぞ!


カッ カッ カッ カッ
カッ
——なあ ハリマオ
お前 何で又 山賊なんかに なったんだ?
カッ
世界は 自由さ
俺は やりたい事をやる
カッ
カッ
カッ


おい貴様等！
どこの連中だ？所属部隊を——


——銃声!
ヴァルトラウテのセンサーが奴等を捕えたか
出撃だ!!

巻之拾四




思ったより早く動きましたな
情報漏洩の恐れもありますが…
わしが直接来たのも総統閣下に報告する前にどうしてもククルカンを見たかったからだ
だいたいこういう風土はわしの肌に合わん… 早く確認して 伯林へ戻りたいのだ
同感です
そこら辺はどうなっておるのかね グルマルキン大佐
予測はしていたよ なんら作戦には問題はない
そんな事より わしは異教の神秘という奴が早く見たくてたまらん
――グルマルキン!!
わしにこの話をもう一度繰り返させるつもりか?
わしは――
確保はしましたが 万一の事態を考えますと……
了解！結構です 符呪を施したらすぐにでも面会させましょう


ただし――
捕えはしましたがまだ我々は奴自身を手中に収めた訳ではありません
そこら辺をお忘れ無き様…
……!!
ガチャ
大佐!
待ちたまえ君がそう怒るのも無理はないがね
なにしろ長官はああいう性格だ 言い出すと聞かない――
ハッ
まるで子供だ
では長官!私も公務があるので失礼させて頂きます
どうかね公安本部に来んか?君の様な人材を鉤十字騎士団などと言う――
訳のわからん機関に置いておくのは実に惜しい
ゲシュタポに来れば階級も少将に昇格させる事を約束しよう!
カッカッ カッカッ カツ


一つだけ言わせて貰おうかハイドリヒ閣下
これは親衛隊大佐としての言葉では無く魔導士グルマルキンとしての言葉だ
お前が私を取り込もうとしている理由はよく分かっているだがな
私はお前等の下らん派閥争いに加わる程ヒマでは無いし
お前が思っている様な些細な理由でナチスに手を貸してやっている訳でもないたかが権力ごときの為に…
私やランドルフ閣下が尽力していると？貴様の様な豚野郎と一緒にするな
ナチスがヨーロッパを制する事が出来ればそれだけでヴァチカンを抑える力となる
我々の様な闇の眷属にとってはこの上無く好都合なのだよ！



──とは言っても お前達人間には とても我々の心情は 理解出来ないだろうがな
くれぐれもこれからは 私を他の連中と同じく コマの様に扱える ──などと 思わぬ事です
閣下はせいぜい 幹部のミスを調べて 揚げ足を取ったりする程度が 性に合っておられる
──貴様の事は 党本部に 報告するぞ
今の発言は 上官と党に対する 明確な反乱意志だ!
この事が 総統閣下の お耳に入れば 貴様など──
……チッ
──うるさい 奴だな…
おいッ 聞いてるのかッ!? グルマルキン!!


闇の深淵の奥に有りしニヴルヘイムより
我は呼び出せり——
邪悪なる蟲 毒持てる線 忌わしき尼僧…
ディオマンドよ——出ませい!!
カアーーッ!!
こいつは悪魔の中じゃかなり下端の方だが
普通の人間一人をくびり殺すには充分だ


この指を"パチン!"と鳴らしたら——
ま…待て…まって下さい!
分かって頂けた様ですな閣下
フフッ
戻れディオマンド!
悪かった!私が悪かった!だからやめてくれ!許して下さいっ!!
へろへろ
では私も仕事がありますので失礼します
へろへろ
……
ビクッ
大丈夫スか将軍殿?


一つ聞きてえんだけど
ヒムラー閣下のお部屋はどちらでしたっけ?
わーーッ おおお前いつからそこに!?
ガタタタ
いや ついさっきから
…見てたか?
いーや 全然
…他言無用だぞ いいな?
あの…! ヒムラー閣下のお部屋は…
うるさい! 一番奥のつきあたりだ!!


ばん
宅急便で――すっ！
…何だ？ ここに来る時には上官に申請しろ！
何の報告もうけていないぞ どこの部隊だ！
ドスン
近衛兵はどうした！ おい誰か!!
近衛兵？ ああ…
外で二人ばかり昼寝してますよ
ガシャッ
おーーっと ヘンなマネはしちゃ駄目だよ
出来れば撃ちたくないンだからね
ばっ


貴様等…
わしを一体どうするつもりだ？
そうさなあ
カルロお前どうしたい？
そりゃあもお
このオヤジのせいで山盛り恐い目に遭ったもんなあ？
とりあえずぐるぐる巻きにして顔に落書きするでしょ——
思う存分やんなさい！
イエッサー!!
おっ
日本人が何かおっ始めやがったな
わあああああ
こらっやめろ！やめなさいってギャ——!!


ギュッ
二階廊下に侵入者発見!! 第二中隊出動せよ!
ダダダダ
基地内での発砲を許可する! 射殺せよ!!
繰り返す 発見次第
射殺せよ!!
パパーン



面白くなって来やがった！
ヘッヘッヘッ！
おいおい あんまし遊ぶなよ
MG──そうだ MGを据えつけろ
逃げろハリマオ 重機だ！



ダラララララララッ
カチャーン
カチャーン
チャーン
ガガ
ゴォン
バン
中へ!
危機一髪か?
まだ危険は終わっちゃいないよ
行き止まりだ


まあ
おちつきなって
排気
ダクトは？
――
ある！
敵はボイラー室に
逃げ込んだ
袋のネズミだ！
編成を立て直し
慎重に進撃しろ！
急げ!!
じゃあ勝ちは
もらった様な
もんだぜ
お前…
どうやって
――！


すっ…
これ
なー――んだっ
ドッ
ゴオオオオオ
…てめえ
そんなん持ってん
だったら
最初っから
使えよな!
バカ言うな
だから
〝切り札〟っ
つんだよ!!


連中がこの部屋に転がり込んだ時
二つ三つばかしコロンとやりゃア
大爆発だ!
索敵モード開始
敵音声を確認
以後バックアップ継続


了解
以後 情報交換モードで 戦闘に入る 頼むぞ ヴァルトラウテ！
誰も いない？
バカ よく捜せ！
気を付けて タッツェルヴルム… 固型火薬の 反応があるわ
HALT!!
ガシャ
ゴロロ..



手榴弾！
退避！退避！
目標 同位置より 3・5m 爆発を確認 終了
武装は小火器のみ―― 状況を開始せよ!!
ゴオオ‥ン
了解 接触する
オ


うまくいった——!?
!
安心するのはまだ早いな
私がお相手しよう!


我こそは鉤十字騎士団が一人
ヘルマン・タッツェルヴルム！
さあ
始めようか！
何？
いつかどこかで
見た事のある…
そうね
遥か彼方に
消えてしまった
私達の景色よ


遠い遠い昔にあった
私の…——そして貴女の
太陽の都市よ


あら
おびえて
いるの？
心配する事は
ないのよ
だってここは
貴女の――
夢の中
なのだから
その・時が来なければ
私はまだ
実体化する事が
出来ないのよ
だから私は
思念をあなたに
送っているの
解るでしょ？
あなたに
それを止める事は
出来ないわ
貴女に会える日は
もうそんなに
遠くないわ
あなたが今
白人に捕われて
いるのも
共に戦う仲間が
出来たのも…
決して
偶然では
ないのよ


――なぜなら
私達を戦わせる為に我等が星々が用意した出来事なのだから
最後に一つだけ助言をしてあげる
これはどんな時でも卑怯な振る舞いをしなかったあなたへの贈りものよ
今日は新月――
貴女の星が本来の輝きを取り戻す日よ

巻之拾伍




お目覚めなさい
ククルカン
見せておあげなさい
あなたの真の力を
白人達に
そして
いつかまみえる
私達の闘いの為に
——闘え！
ククルカン!!


!
――テ…
――何だ！
何事なのだ？
…ぐ
テスカ…


テスカトリポカァ…!
消火器!消火器を…早く!


ゴォオ
何の音だ
何? ねえ おしっこ?
ドン
ちがうよ!
せ…責任者 シェーレンベルグ将軍は どこだッ!
はは 早く来い シェーレンベルグ!
外で包囲してる 連中の中に シェーレンベルグってのは いるかい? 長官 用があるってよ
ハイル フューラーッ!
自分が基地指令 クルップ・フォン・ シェーレンベルグで ありますッ!


すっけえデブ
わはははははは
余計なお世話だ この狼藉者共
シェーレンベルグ! このバカ者! 一体どうなっておるのだ?
は…ハッ もう少し御辛抱下さいませ閣下!
違う違う! わしではない! あの爆発だ!!
あれはまさか「機密物品」の部屋で起きた訳ではあるまいな!?
い…いや そんな筈は… 目下の所状況を究明中であります! いましばらくお待ちを…
間違いねェな
カキン!
ありゃきっと俺の仲間だよ
さァて——そろそろドライブの時間だ
車あるんだろ? 場所教えてくれよ 将軍 長官も御一緒にな


人造人間…という奴かな？——少し
想像力がない様だな君は
何者だ……？
ヨロイを着込んでやがる！
意味あいは違うがね
死にやがれっ！
ド
ン
ビス
——甘い
甘いよ私の体は…


重戦車とも対等に渡りあえる様に設計されているのだからね！
ハ……


ハリマオ！
ガシャ――
目標1
心拍数急上昇――
戦闘力低下
ジャキン――！
残念だが私は
君等の排除を
命令されている
君も
この男と同じく
排除させてもらう
悪く思うな
…けっ
ザマア…ねぇ…
！


——反応が
もう一つ…でも…
何だ？
分からないのよ
正体が！
動体は一つから
増えていないわ
我ヲ……使エ！
今コソ
ククルカンヨリ
賜リシ
我ノ活躍ノ時
！
イザ戦エ
選バレシ豹ノ戦士ヨ！
へへ…そういや
忘れてたなァ
見せて貰うぜ
あんたの力をな


ゴ
オオオ
やれるもんなら
やってみなよ


ひゃー


ちぇすとぉ!
!


キュ
バッ
何だ!どう言う事だ!
——分からない
何なの?


成程
そういう事ですか
ゴオオオ
機甲戦において
後方攪乱を担当する
二体の自動歩兵
一体は情報収集
一体は攻撃
実に合理的ですな
貴女の様な
素晴しい性能をお持ちの
自動歩兵を潰すのは
とても惜しいが——
これも仕事でね


カカカカカカッ


ぐっ
やはり所詮は後方支援機…
戦闘能力は大した事はない様ですね
わ…私は
キカイ…何かじゃない……!!


何言ってるんです
貴女はキカイですよ　その証拠に——　——虹蓮！
翼を折れ！
うあああ
キイィ
貴女の持つ翼は偽りの鋼の翼だ


ガガッ
もう お喋りも 終わりの時間だ
死んで いただきますよ
——た…
助けて タッツェルヴルム!
!
ああ…早く!!


フ……フフフフ
――少年 ひとまず勝負は お預けだな
逃げるのか てめェ!
また いつか 君と戦う時が あるだろう
その時までその命 預けておこう 今は別にやらなきゃならん 事が出来た
――そうだ!
二度もお前を 見殺しにする訳には いかんのだ! ヴァルトラウテ!


ゴゴゴゴ
──復活？
馬鹿な！
断じてあり得ん！
〝あり得ない〟？
──いいえ
貴女との
力の差を教えて
あげるわ
ジャッ


我が名は ケツアルコアトル・トピルツィン
トルテカの 全ての神を統べる王! 我こそは「羽毛ある蛇」なり!


戦いが望みならば
一戦交えようぞ


巻之拾六


成程・・・面白い!!面白いぞ!
もう茶番はお終いと云う訳だ!!当然だ!!
私もな いいかげん腹に据えかねていた所だ
いかに可愛いお前とは云え私の――
魔導士としての面子を叩き潰してくれた その罪許す訳にはいかん



決着をつけてやる
「ククルカン作戦」も これで終いだ
受けて立とう
——我の声に従え ニヴルヘイムに棲みし悪鬼共！


我が命に従い
我を助くる剣と化せ！
——されば——
殺戮の歓びと
血の聖餅を汝等に
我は授けん!!
覚悟とあらば
かかって来るがいい！


知った風な口を！
！
…引っかかったな！


奴を捕えろ!!
さて…実に面白いゲームだったが
もうそろそろお終いの時間だ「幕切れ」という奴だよお嬢さん!
知ってるかね?場が終わると
敗者には清算して貰わなければならん…払うべき代償をね
本当に楽しいゲームだったよククルカン


フフ…
おかしな事を言うわね
「幕切れ」ですって？いいえ——まだ本当の幕切れじゃないわ
戯言はあの世で言うがいい！
……風よ
汝等の主 金星の盟主が命ず 夏に集い春に唄う 全ての風共よ 今こそ——


舞い狂えッ!!
SYLPHE SICH WINDEN!
ヒュ
…風の魔法か！
さすがはアステカ随一の風使いよ！
ビュオオオ
…だが
大気を玩具に出来るのはお前だけではないぞ！




……？
——馬鹿な……
お前の放った風の精霊は
全て我に従った……
誤算が命取りだったわ
グルマルキン
風よ
——再び我が手元に
そして我が名を唱え……


ヴァチカンにも属する事無く守り続けて来たこの躰を……この躰を！——よくも貴様！
殺してやる…殺してやるぞ！
——“汝等の身体を火の神シウテクトリに捧げ我が前の虚空を”
ゴォオ
“その怒号と共に焼き尽くせ”
——幕切れよ グルマルキン


な・・・


ドサル
はーっ
はーっ
ズっと見てたよ
ダメだよまったく…僕の代わりが務まると思ってたのにさ
もう少し助けるのが遅かったらね グルマルキン
君 ケシズミになっちゃってた所だったんだよ


ランドルフ閣下！
ホフブルグから帰ってすぐ水晶球で君の戦いぶりを観戦してたんだ
君はどうやらあの女を侮りすぎた様だ 強いよ あいつは
どうも危ないと思ってねえ 君を呼ぶ為に魔法円を組んでおいたんだけど それでも少し手間取ってね
もうその肉体もガタガタでしょ？ 実は新しいのを用意させてあるんだ
もちろん人造人間じゃないよ 前から親衛隊に手配させておいた奴さ
閣下 ここは…？
ズデーデン アルプスの ヘルマン シュタットさ
君の居城だ グルマルキン


太平洋要塞とヒムラー長官達は如何致しましょう
あそこには機械人形共がまだ残ってるじゃない
連中助ける為に骨折る必要もないでしょう?
それに——
ヒムラーなンぞ死んだ所でナチにはまだ替わりは沢山いるさ
さて新しい体も来たみたいだ
気に入ってくれると嬉しいんだけど?


ゴォォーーーォ
風よ
もしあの人が
ここに来ているのなら
我を
彼の場所へ
導いて


巻之拾七


パン
ドド
ハリマオ！歩けるか？
駄目だ…
さっきのあれが効いちまったみてえだ
…クソッ…
バカ！しっかりしやがれ！
ああ…シズ子…
兄ちゃん…約束守ってやれそうにねェ…


ならその娘の為に生きて帰れ！
！
…とは云え いよいよ……
しかし只じゃ死なねえぞ
手前等も道連れだ
来い！兵隊共!!


ゴオンッ
…



新手だッ!
ガシャン
奴が先だ!! 射殺しろ!
ガシャ!
あああああ
ククルカン—— ……か?


私は…私は
あなたが…
必ずここに
来てくれると
…信じていました
恐かった…
不安で
たまらなかった…
だから もう…


私を離さないで
—居た！そこだ!!
抵抗は止めろ！その女をすぐ…

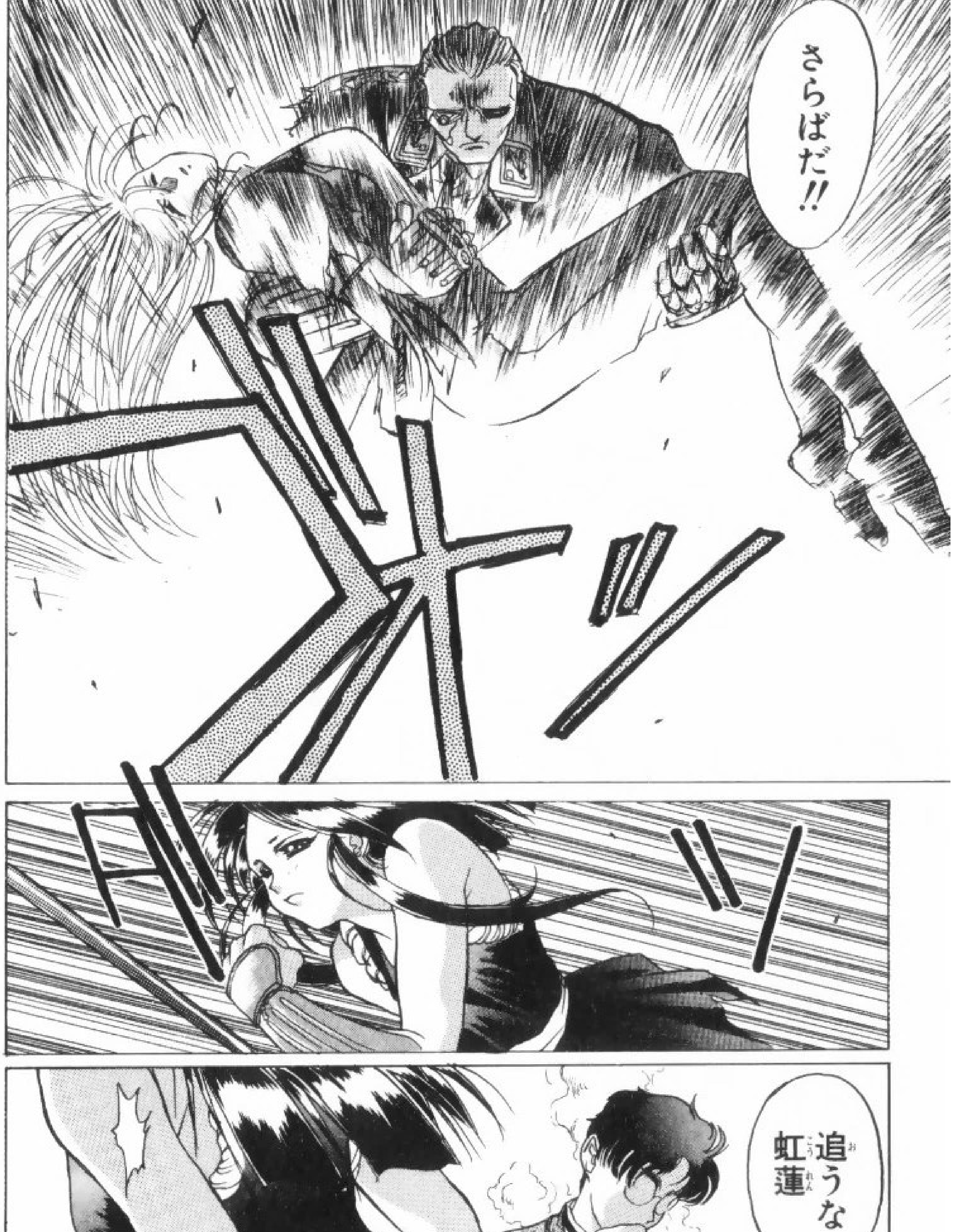

うおおおオォ
ゴッ
ズザシャァ



──貴様等…
ヴァルトラウテに…
──何をした!!
何を……?
飲み込みの
悪い人ですな
もう一つの仕事を
やりやすく
したまでです
脇坂君達に
いつまでも
からまれたのでは
こちらも困るのでね
虹蓮
貴様ァ
アアア!!
ダッ


貴方だけが特別じゃないんですよ
こいつも特別製なんですから


逃げる時間くらいはあげましょう
早くせんとその娘…修理がきかなくなりますよ
…よかろう
ガシャ
その言葉甘んじて受けようしかし…
次に会った時はヴァルトラウテの償いをさせてやる!
―よく覚えておけ…
どうぞご随意に

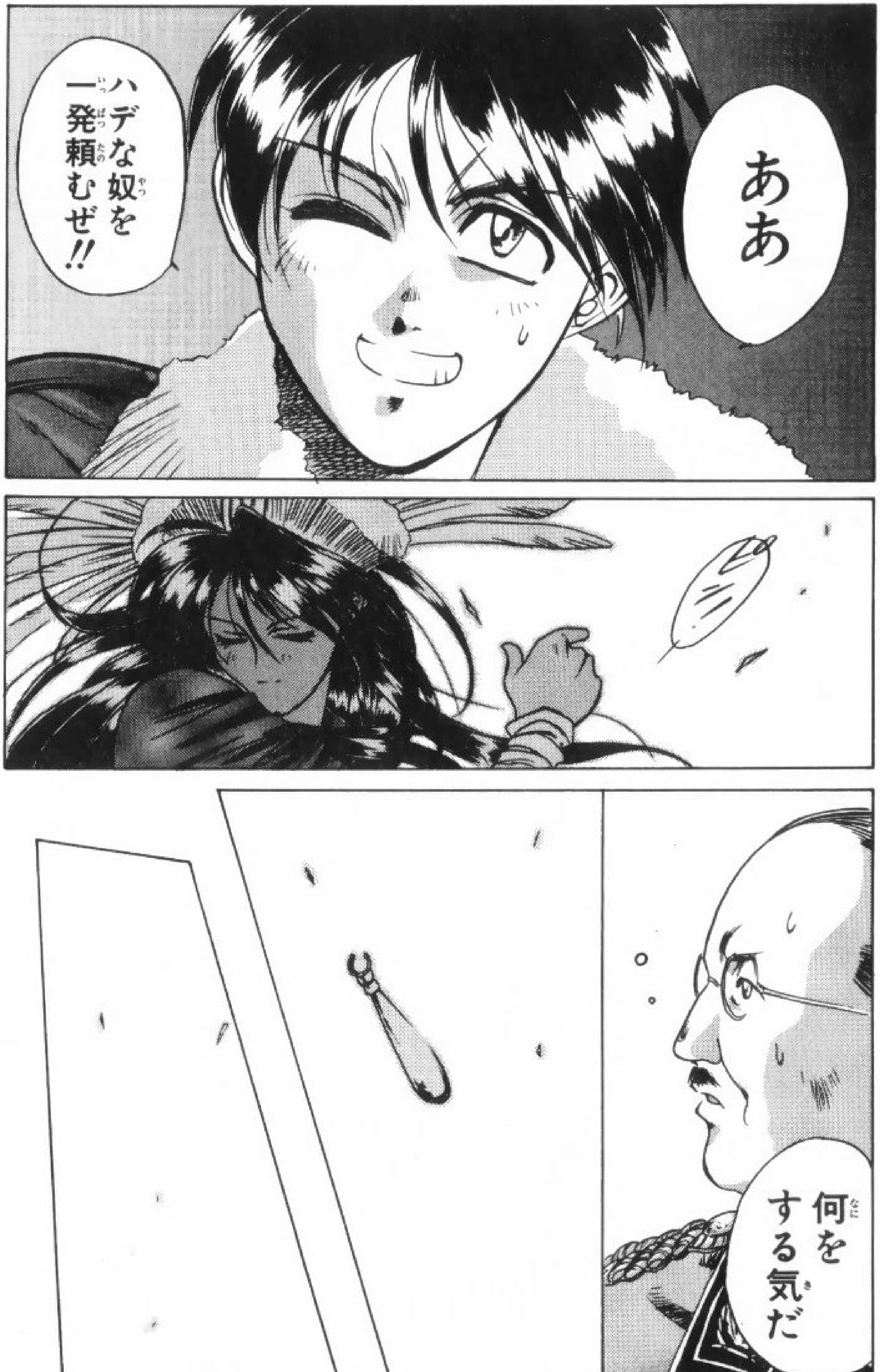

さらばだ!!
追うな虹蓮

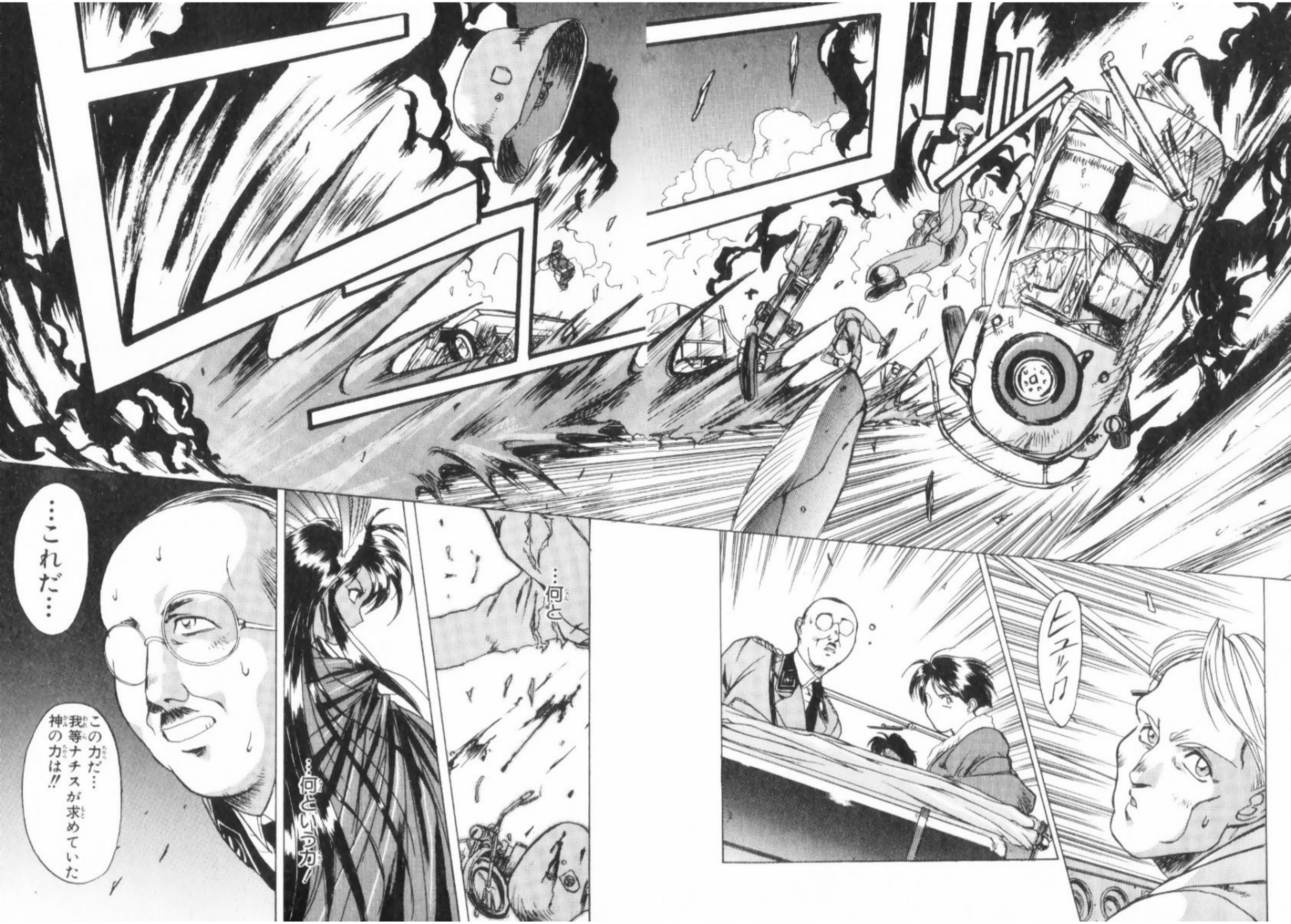

あんなのに構っているヒマはないんだ
僕の言う事が聞けないのか?
行くぞ
バキャア


旦那だ!!
遅ェぞ!! 早くしろ!
出せっ!!
…君が この騒乱の 主導者だな?
何だい こいつ 知り合いか?
ハインリヒ・ヒムラー 親衛隊国家長官
チョビヒゲ伍長の 召し使いさ


今ならまだ
間に合う…
投降し給え
投降すれば
君達の身の安全は
私が保証する!
保証だって?
笑わせんなよ
ハゲ野郎
どこの世界に
屠殺人を信用する
羊がいる?
——死にたくなけりゃ
だまってな
強がりを言うのも
いいかげんにッ…!?
今は
立場が違うぜ
長官
こっちが
命令する側で
あんたが
従う側さ
追っ手だ
山程来やがった


―脇坂さん…
よろしいですね


ああ
ハデな奴を一発頼むぜ!!
何をする気だ


ヒュッ♪
…何と
…何という力!
…これだ…
この力だ…
我等ナチスが求めていた
神の力は!!



菊水楼
同刻 赤坂区 料亭「菊水楼」
…俺はこの案を参謀本部に提出するつもりだ
これについて貴様の意見を聞きたいのだ 藤原!
—本郷 こりゃあまた…
無謀な作戦だ だいたい資金はどこから?
横浜正金銀行奉天支店
十五万迄なら出してくれるらしい もちろん担保はこの本郷の首だ

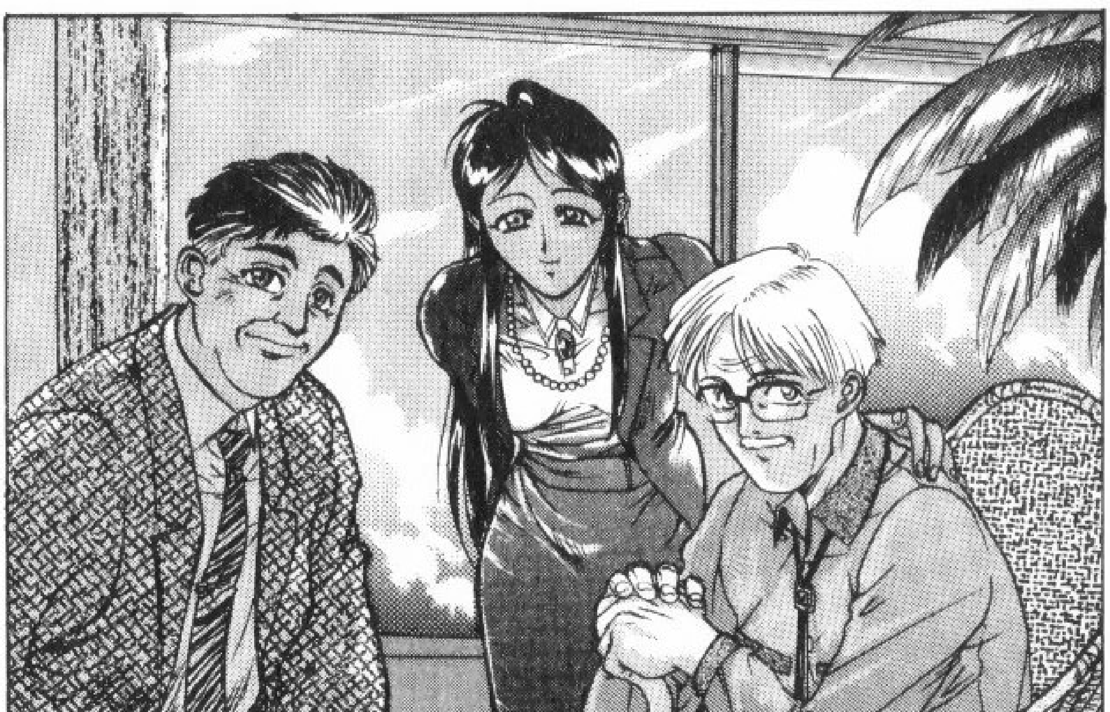

〝く号作戦修正案要綱〟
NEGRO
俺も最初は半信半疑だった……が今は胸を張って言える
この存在は著しく世界の軍事バランスを変動させる
どう言えばよいものか……この地球上にあるどの国も手に入れる事を許されない隠し札だと俺は思っている
もちろん我々とて例外ではない…あれは異端なのだ
しかし報告書通りの代物だとしたら…支那での戦争なんぞあっちゅう間にカタが付くだろう
あくまでも目的は〝利用〟でなく〝保護〟なのか？
俺は出来ればそうしたい
参謀本部にそのつもりが無くとも満州の俺の所にいる限り手出しはさせん
うちの機関員の情報によれば餌も俺の手にある
あとは工作の為に手駒をそろえる…それだけだ!!
ガラッ
しかし
そんな汚れ役をだれが……


貴様は南方方面の機関出身だから知らんだろう
こいつこそ八路や国民党軍が最も恐れる満州馬賊「安国軍」総司令…
〃ハルピンの鬼姫〃
川島芳子だ
♪
二万円も積まれちゃ嫌たァいえないねェ
今度は何処で暴れさせてくれるんだい？本郷さんよ
もっともあたしゃア暴れさせてもらえりゃ何だって結構さ！

「と」言う所で、この「翡翠峡～」も一応おしまい。本がツブれるんじゃあしかたがないっス。商業デビューはもうちょい前なんだけど、初の長期連載だったんで、とりあえず手探りのスタートでした。甘いよなァ、何度も落としたし、まだまだプロとは言えんよなァ。まあでも、プロへの決心を固めた点と、とりあえず一番やりたかったネタを野放し(笑)でやらせてもらえたと云う点は評価してもいいかもしれないな。うん。話は第二部へと続く予定なのでいつかまた、どこかで描くかもしれません。誰か描かせて。(笑)

これで、お別れという事なので、現在の彼等を出しておきます。勝坂君はまだ母校で教鞭を取っていて、まだまだ元気。カルロちゃんはメキシコの財務次官です。そして真ん中の女性は……いや、今はまだ言わないでおきましょう。またどこかで皆さんと彼等が出会う日の事を考えて。それでは、願わくば貴方が自分自身の冒険を見付けてくれる事を……

御愛読ありがとう!! 大好きだよ!!



H6.8.20.自宅にて旧友カルロ、家内と共に。

BGM. G-CLEF. "THEME FROM THE SUMMER STORM"

ギュンター・ウェブスター
GUNTER WAVESTER

■ドイツ系２世の新聞記者。こーゆう白人系のいかにもアメリカ人てのはマンガに出してみたかったんスよ。

■モデルは特に無いのだが、キャラクターのイメージとしては景山民夫の冒険小説「虎口からの脱出」に登場したマイケル・オライリーという白人のドライバーが一番自分の中では近い。いいんだこの本が。超好き。

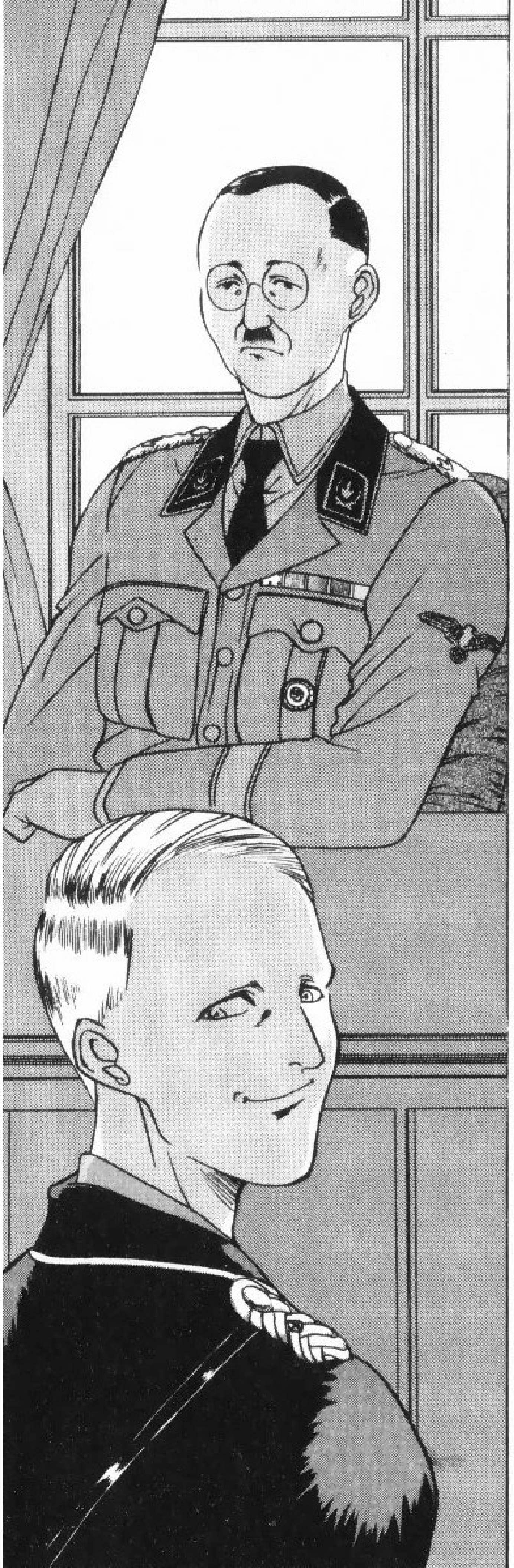
■本当はこいつ秘密があって、最後の方で大ドンデンやるつもりだったんだけど、本潰れちゃったしね…。その大ドンデンについてはまたこのマンガどっかでやるかもしれないので、今はヒミツ、ごめんね。

徳田 憲次
NORITSUGU TOKUDA

■海軍航空隊に所属する46歳の不良中年。これもモデルは特にないな。斜に構えたパイロットって描いてみたくてこーゆーキャラを創りました。冒険モノでは不可欠じゃない？こーゆーキャラってさ。乗ってるのがＤＣ－３だったりするともうたまらんて感じになるんだけど、こいつは日本軍側なので二式大艇で登場。

■第一次大戦ではドイツ軍と一戦交えた事もある筋金入りの叩き上げ軍人で、部下からの信任も厚い。どら焼きが好きで江東に奥さんと15歳の息子がいる。





ハインリヒ・ヒムラー
HEINRICH HIMMLER

■元養鶏家のおっさん。
実在の人物である。
1922年頃からナチスにいる古株党員で一般には「冷酷無比なＳＳの長官」といわれるが、実際の所はいっつも夢みたいな事ばっかし考えてる、神経の細い人間であったらしい。
現に1941年、東部ヨーロッパでユダヤ人の処刑に立ち会った際、あまりのムゴさに気絶してしまった位である。

■面白いのはこの人、軍隊コンプレックスを持ってて、近視で体力がなかった為に入れなかった軍隊に強い憧れを持っていたらしい、最終的には武装ＳＳ（親衛隊戦闘部隊）アーベルライン軍集団を率いてソ連軍と戦ったが、そっち方面の才能がまるで無しだった為、ヒトラーに解任されてしまう。

■1945年4月、第三帝国の崩壊を悟ったヒムラーは制服を捨て逃亡を図るが、英軍に捕まり、青酸カリで自殺を遂げた。

ラインハルト・ハイドリヒ
REINHARD HEYDRICH

■これも実在の人物。映画に出てくる敵役ナチ将校をそのまんま地でいっている人。

■陰険で狡猾、三度の飯より陰謀の好きな人間で、その上権力のイスに座る為ならどんな最低な事でも平気でやる男であった。ユダヤ人の絶滅計画を立案したのもこの男である。

■また自分の地位を確固としたものにせんが為にＲＳＨＡの情報部を私物化し、ライバルの個人的な弱みを握って脅迫したりしているのである。
当然こんな奴が好かれる訳もなく、他のＳＳ将官からは「処刑人」「ヒムラーの悪魔」とか陰口を叩かれパーティーの席とかでもこいつが来ると皆さっさとどこかに行ってしまう程嫌われていたらしい。

■ヒムラーに対しても同様で、内心は「あいつ俺より頭悪いしなぁ」と軽蔑しておきながら表面では媚びへつらっていたという、つくづく最悪の奴である。
思い当たるフシのある友達がいたら、さっさと別れた方がいい。
ろくな事にならないぞ。

■その彼も1942年、チェコでレジスタンスに襲撃され38歳の生涯を閉じる。その葬儀に参列したＳＳ将校が一言
「あの牝豚もついにくたばったか!!」
……つくづく嫌われ者である。

川島 芳子

YOSHIKO KAWASHIMA

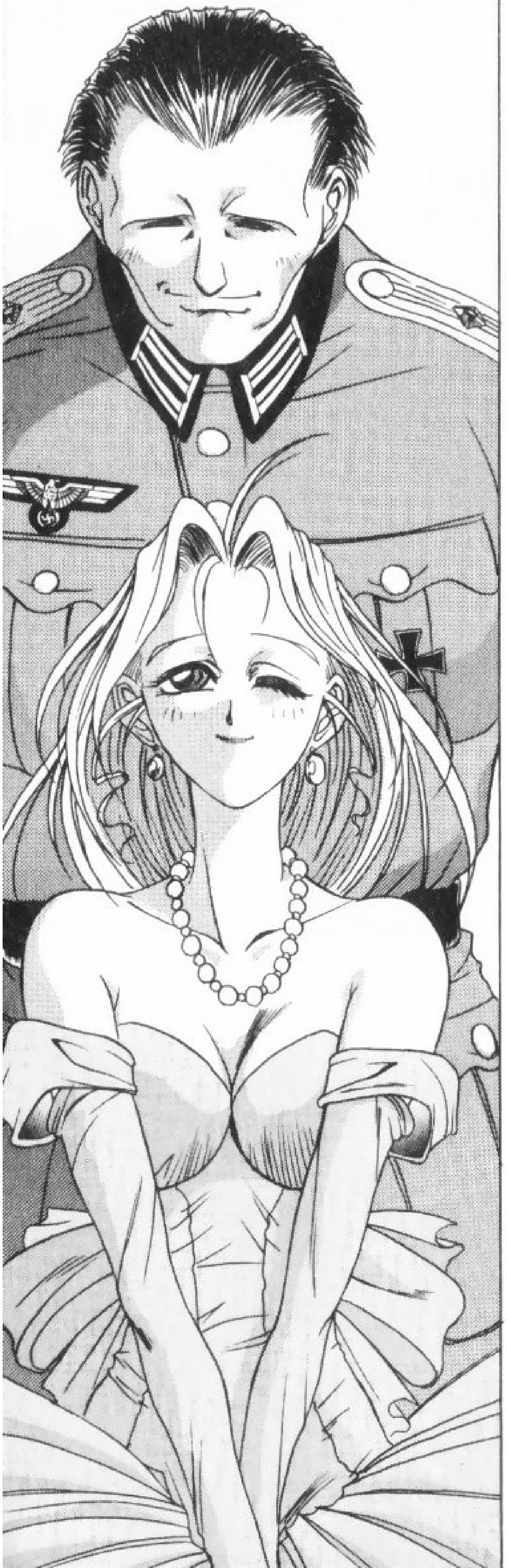
■実在の人物である。
■本名を愛新覚羅顕玗。
清朝の太宗ホンタイジの嫡系である
粛親王善耆の第十四王女である。
養女となり、崩壊した清朝の復活を
願って馬賊へと身を転じた。
■この漫画ではアウトローに描いて
みたが、実際の川島は日本軍の
スパイ的な役割を担っていた。
逮捕された際に国奸(反逆者)として
銃殺刑に処せられてしまった
悲劇の女性である。
■外見も本物と漫画は大分違ってて
本物の方は七三分けの髪で背も
チンチクリン。
あんましそーゆう感じはしないぞ。
外見のモデルは俺の彼女(笑)。
■大満州の平原を馬を駆り立て
モーゼル片手に暴れまくるってのを
やりたかったんだけどね。

ハリマオ

YUTAKA TANI

■これも実在の人物
本名は谷豊。マレーシアの港町
クアラ・トレンガヌで小さな
床屋の長男として生まれる。
幸せな一家であったが昭和六年
満州事変と共に起こった
マレーの中国人暴動事件の際、
暴徒に妹シズ子を惨殺されてから
谷は中国人と、事件を知りながら
捜査をしぶったイギリス人に対し
復讐を誓い、盗賊団を組織して
マレー中を暴れまわった。
■日本軍にスカウトされるのは
太平洋戦争直前なので時代的には
少しズレが生じているが、この
キャラは深みがあって何としても
自分の手で甦らせたくてね。これも
本物の方はチンチクリンで当時の
平均的な日本人てな感じ。
しかし戦争を知らない世代の
ハリマオは如何だっただろうか。





タッツェルヴルム

TOTHELLBORM

■鉤十字騎士団四騎士（スワスティクオルディン）の一人。
名前はオランダに伝わる魔竜から名付けた。なんでロボットかというと、ナチスの科学は世界一だから(笑)。
今回は生前の二人を描いてみたがどうでしょう？
■設定では生前こいつはドイツ軍の将校だったので、ドイツ軍の制服を着せてみました。
なんかこーゆーほのぼのしてんのもいいでしょ？

ヴァルトラウテ

WALTRAWTE

■鉤十字騎士団四騎士の一人。
ワグナー歌劇
「ニーヴェルングの指環」
ワルキューレの四人目の名前を使わせてもらった。
最初はワルキューレの中で一番メジャーなブリュンヒルデにしようかと思ったんだけど、俺のマイナー志向が吠え始めたのでこの名前に変更、ちなみにこの二人の他に、ゲルヒルデ、オルトリンデ、シュヴァルトライテ ヘルムヴィーゲ、ジークルウネ、グリムゲルデ、ロスヴァイゼという名の姉妹がいる。
■たぶん性格は鉤十字騎士団の中でもかなりいい方に違いない。
また機会があれば生き返らせたい。キャラの一人である。
■しかしあの金属製の羽根はみんなからいやらがれてたのう。

ランドルフII世

KRINGZORL

■鉤十字騎士団四騎士の一人
■ワーグナーの歌劇「ロウエングリン」の前史にあたる「パジルファル」に登場した魔法使い、クリングゾールの別名から取って来た。
二対二でちょうど釣り合いが取れるかなーとか思ってね。
ちなみにグルマルキンより五百年近く長生きしてるので当然。
グルマルキンちゃんはこいつに頭が上がらないのであった。
■しっかしナチス側、もっと色々出すつもりだったんだけどなァ…。
ヒトラーは絵だけの登場で終わっちゃうし、ゲッベルスやゲーリングも出して、
ニュールンベルグの党大会シーンを盛り上げようと思ってたんだけどね。
軍服は描いてて楽しかったけどあんなにいるとちょっと嫌気が出て来ますね。たまらん。
■そうそう、ランドルフの制服と他の騎士の制服が違うのは、
ランドルフは表向きはヒットラーユーゲントの所属だからです。他の連中は皆親衛隊なんだけど。
本人は結構面白がってて、休みの日には他のユーゲントの友達とかと一緒にユダヤ人の家にペンキでダビデの星描いたりして遊び回ってるらしい。
困ったちゃんである。



Auther
REI HIROE

Assistants & Tone Assistants

SHOJI UMEMACHI
J SAIRO
HIDERO HORIBE
Mr. PACIFIC
"BooBee"SIGMA
TAKAAKI SHUGIYAMA
AKIRA TAKASHI
Mr. SAND&SQUART

Special Thanks

SOLTY DOG
Mr. MASAGO
REIJI PSYTOW
BEACHI KOBA
SHINKITICHI SATOW
TRUMP
KATSUTOSHI AOYAMA
SGT. SAL

本書をカニ前の人々と中田久美子女史に感謝と共に捧げる。

コンプコミックス
翡翠峡奇譚②
■一九九五年三月一〇日初版発行
■著者　広江礼威
■発行者　角川歴彦
■発行所　株式会社角川書店〒102東京都千代田区富士見二-十三-三
電話　〇三-三八一七-八五二一(営業)〇三-五二二九-三五五五(編集)
振替口座　〇〇一三〇-九-一九五二〇八
■装丁　APPLE PIE
■印刷・共同印刷株式会社　製本・株式会社大谷製本
初出=月刊コミックコンプ一九九三年十月号〜一九九四年十月号

ISBN4-04-713062-1 C0379